

2017年9月期 第4四半期（通期）決算説明会 質疑応答の要旨

2017年11月9日に開催した第4四半期（通期）決算説明会（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

Q 1. ネットマーケティング事業における足元の状況と2018年9月期上半期の予測について

A 1. 前期から進めてきたテコ入れ施策が奏功し、第4四半期はガイダンスを上回る着地ができた。前期に発生した大型案件の落ち込みといった一時的な外部要因は一巡し、想定し得ないような業績変動は現時点で起こる可能性は低いとみている。こうした状況を踏まえ、今期上期の予測について、従来と比較して高い精度での予測を立てられる状況になったと考えている。また、地域別にみると海外は安定してきており、国内は収益性を高めていくフェーズにある。当社が強みとするアプリ広告やソーシャル広告領域に加え、Webやサーチ領域についても注力していくことで顧客ミックスと商品ミックスを改善していく。

Q 2. 第4四半期のGANMA!に対する投資状況について

A 2. 第4四半期においてGANMA!を中心に317百万円のプロモーション投資を行っている。我々が作っている自社のマンガコンテンツはアーカイブとして蓄積されていくもので、それが結果としてユーザーの継続率やマネタイズに繋がっていくものと考えている。プロモーション投資についても同様であり、実質的に事業の価値・資産として蓄積され、企業価値を高めるための投資になっているという確信を持っている。

Q 3. GANMA!における収益化のタイミングについて

A 3. 事業単体における収益化の時期を明言することは時期尚早と考えている。説明会資料（P19）で記載した「アプリのMAUランキングデータ」の通り、10代を中心に若年層からのエンゲージメントが非常に高く、積極的にGANMA!を利用いただいているという認識を持っている。こうしたユーザーの着実な伸長が結果として収益に繋がるが、その顕在化する具体的な時期を正確に読むことは難しいとみている。一方、収益貢献という観点では、ブランド広告市場の開拓について非常に良い手ごたえを感じている。日本を代表するナショナルクライアントからの広告出稿が増えてきている状況であり、インターネットメディア全体の中でのプレゼンスが高まっている。

Q 4. 業績予想の方針を従来の四半期予想から半期予想に変更した背景について

A 4. 足元における事業の進捗状況を踏まえ、半期（10月～3月）の業績について、ある程度合理的に高い精度で予測できる状況になってきている。

また、ステークホルダーへの開示方針という観点においても、従来の四半期予想よりも半期予想の方が分析をしやすくなるという点も踏まえて総合的に判断し、今回の変更に至った。

Q 5. 人事制度改定の影響により今期上半期で2.4億円の人件費増加とあるが、この背景について

A 5. 当社がこれまで独自に進めてきたマシンラーニングを軸とする人事システムの仕組み化が進展し、優秀な人材の採用及び早期の戦力化が進んでいることが、内部データとして立証されてきている。そういった背景を踏まえ、優秀な若手人材に対して市場価値に適合する魅力的な報酬で報いていくということが、今回の人事制度改定の一つのポイントである。

以 上